

日 時	2024 年 12 月 14 日 (土) 10:00 ~ 12:00 天候：晴
場 所	湿地、2 階交流スペース

講座・活動名	湿地モニタリング調査 & 観察園全樹木調査 毎月第 2 土曜定例 (今回講師の都合で日程変更)
参加者	17 名 構成： 講師 2 名、(環境局 1 名) NTT 西日本関西支店 4 名、エコボラ 8 名、一般 1 名、事務局 2 名
講師名	鈴木真裕 (大公大)、北川ちえこ* (エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内 容	生き物調査、標本作製、データ入力、(報告書作成)
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) 調査用紙、ボード、バケツ、網、バット、スポイト、マイクロスコープ、PC
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	・阿波座南公園のビオトープを維持管理し、明治小学校の児童らに環境教育を行っている指導者グループの代表として、金下玲子さんが来られた。ビオトープの維持管理、とりわけアメリカザリガニの駆除には苦労された経験を、PowerPoint で紹介していただいた。今後もぜひ、情報交換したい。また、NTT 西日本さんとも、名刺交換をされていた。 ・ザリガニ採りのため、もんどり大 1 個、小 2 個を購入してもらった。小 2 個を使い、干しいたけの刻んだものと刻み昆布を、不織布のお茶パックに入れて沈めたが、ザリガニの収穫はできず、カワリヌマエビ類が数匹だった。 ・12 月 11 日に、大阪産業大学の学生実習でザリガニを採集したのと、季節的な影響もあり、罠にかかりづらかったと思われるが、たも網による採集では 49 匹を確認した。 全樹木調査の準備 ・水路より西のクヌギ林が、測定しやすいので、樹高と胸高直径の測定を開始した。 ・山のエリアが立入禁止になったので、通行者がなく、計測しやすかった。
事務局への 伝達事項 次回案内等	

スタッフ氏名	活動内容	参加者氏名	活動内容
西田敏子	植物調査	NTT のみなさん	動物調査、樹木調査準備 4 名
渡辺喜代子	植物調査	鈴木真裕	動物調査、標本整理
竹原秀樹	植物調査	北川ちえこ	植物調査、樹木調査準備
中谷憲一	昆虫調査	(環境局 駒谷)	植物調査、樹木調査準備
林耕太	植物調査	(事務局 新名)	器材・資料準備、撮影
田中伸二	動物調査	(事務局 村上)	器材・資料準備、撮影
鈴川博司	アケビの除去、周囲の枝伐り	見学 金下玲子	阿波座南公園紹介、ザリガニ採取
榎元慶子	植物調査、樹木調査準備		

いずれかに○→ (○) 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出

日 時	2024 年 12 月 14 日 (土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査		

湿地の状況 241214

給水中

水は濁っているが以前ほどではない 南方向 241214



北方向 241214



湿地の生き物 241214



イグサ



コセンダングサ



セイタカアワダチソウ

日 時	2024 年 12 月 14 日 (土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査		

湿地の生き物 241214



湿地周囲の生き物 241214



日 時	2024 年 12 月 14 日 (土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査		

湿地周囲の状況 241214



12月11日に大阪産業大学学生
実習で駆除を行い、すくい上げた
落ち葉が岸に積まれていた

No.70エノキには、こもが巻かれていた
ゴマダラチョウの幼虫が入るかもしれない



アメリカザリガニ駆除 241214



12月11日に、大阪産業大学の
学生実習でザリガニを採集したのと、
季節的な影響もあり罠にかかりづら
かったと思われるが、たも網による
採集では49匹を確認した
この日はもんどりを投入したが、カワ
リヌマエビ類以外は入らなかった



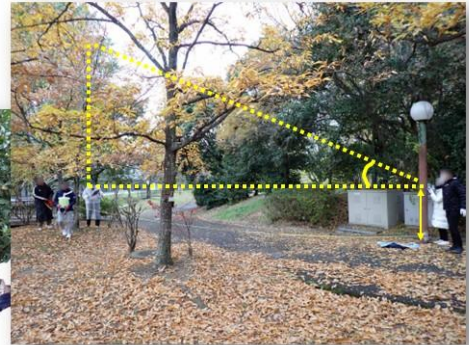
えさは、干しシイタケ、
刻み昆布を使った
他に削りガツオ、きな
粉も用意した

日 時	2024 年 12 月 14 日 (土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査 & 観察園全樹木調査		

観察園全樹木調査 241214



電灯柱にメジャーの先端をとりつけて、対象樹木までの距離を測り、仰角をスラントレベルで測る
次の対象に移動するときも、電灯柱を基点にする



計測者の目の高さを、計測値に加算して、樹高を求める

この日の計測は西側の樹林を対象に行った